

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座・教授
氏名 Name	川北（安生）恭子
専門分野 Academic Field	フランス語学

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	フランス語連結詞				
<p>研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>(1) 今年度も引き続き日仏語対照研究の一環として、フランス語連結詞研究を続行する。これにより、フランス語の思考表現方法・論理構成の在り方の把握はもとより、日仏語による談話双方の理解につながるものとする。今年度は、既に行った分析・考察を通して類似性が問われた <i>d'ailleurs</i> や <i>toujours</i> 等にも考察対象を広げていく予定である。また、こういった連結詞と対応する日本語表現との関連も検討していく計画である。連結詞の日仏語対照研究においては相違や類似性を実用的な基準で示すことを目指し、フランス語教育に資すればと考えている。</p> <p>(2) フランス義務教育とくに小学校におけるフランス語教育（国語教育）を、新学習指導要領に基づいて作成された教科書および教師用手引書を参照しながら分析・考察する。語彙および文法の習得内容や習得方法に焦点をあて、外国語としてのフランス語教育への応用可能性を模索する。また、新学習指導要領に記載され、学校教育（新学習指導要領に則った教科書）に採り入れられた(新)正書法についても纏め直し、外国語としてのフランス語教育への貢献・期待を報告する予定である。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学	外国語教育	対照言語学	国語教育	
キーワード Keywords*2	連結詞	談話	接続詞	推意	